

2023年9月
津山信用金庫

お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティ）に関する 取組方針の取組事項および実施状況について

津山信用金庫は2017年12月18日に「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティ）に関する取組み方針」を制定いたしました。

今回、当金庫のお客さま本位の業務運営への取組み状況を公表いたします。取組み状況については、今後も定期的に公表するとともに取組み方針については随時見直してまいります。

お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティ）に関する取組み方針について（2017年12月18日制定）

1. お客さまの資産形成に資する商品・サービスの整備
2. お客さまへの情報提供およびコンサルティングの実施
3. お客さま本位の業務運営態勢の整備と人材育成

お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティ）に関する取組み状況

- 投資信託・つみたてNISA、生命保険ラインナップ
- 投資信託の取扱状況
- 生命保険の取扱状況
- iDeCo契約件数推移
- 投資信託残高・顧客数推移
- NISA利用残高・口座数推移
- 2021年度アフターフォローの実施状況
- 職員の専門資格取得状況
- 運用損益別顧客比率（共通KPI）
- 投資信託預り残高上位～銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン（共通KPI）
- 外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率、銘柄別コスト・リターン

お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する
取組方針の実施状況

1. お客さまの資産形成に資する商品・サービスの整備

お客さまのニーズにお応えするため「中・長期的、安定的な資産形成」を重視した商品・サービスの充実に努めます。

【実施状況】

投資信託ラインアップ（2023年3月末時点）

商品カテゴリー	取扱商品数	取扱商品比率
国内	3	30%
株式	2	20%
REIT	1	10%
海外	5	50%
株式	1	10%
債券	4	40%
バランス型	2	20%
合計	10	100%
うち、ノーロード	1	10%

つみたてNISA商品ラインアップ（2023年3月末時点）

商品カテゴリー	取扱商品数	取扱商品比率
国内株式	2	33%
海外株式	3	50%
バランス型	1	17%
合計	6	100%

生命保険ラインアップ（2023年3月末時点）

商品カテゴリー	商品数
定額個人年金保険（円建て）	1
一時払い型	0
積立型	1
定額個人年金保険（外貨建て）	3
一時払い型	2
積立型	1
終身保険	6
一時払い型（外貨建て）	4
一時払い型（円建て）	2
平準払い型（定額）	1
平準払い型（変額）	1
定期保険	1
学資保険	1

投資信託の取扱状況～契約累計金額上位5銘柄（2023年3月末時点）

順位	投資対象	商品名	投信会社
1	国内不動産型	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信㈱
2	バランス型	しんきん3資産ファンド(毎月)	しんきんアセットマネジメント投信㈱
3	国内株式型	しんきんインデックス225	しんきんアセットマネジメント投信㈱
4	外国株式型	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信㈱
5	外国債券型	しんきん海外ソブリン債セレクション欧州	しんきんアセットマネジメント投信㈱

投資信託における積立投資の状況

定時定額買付型

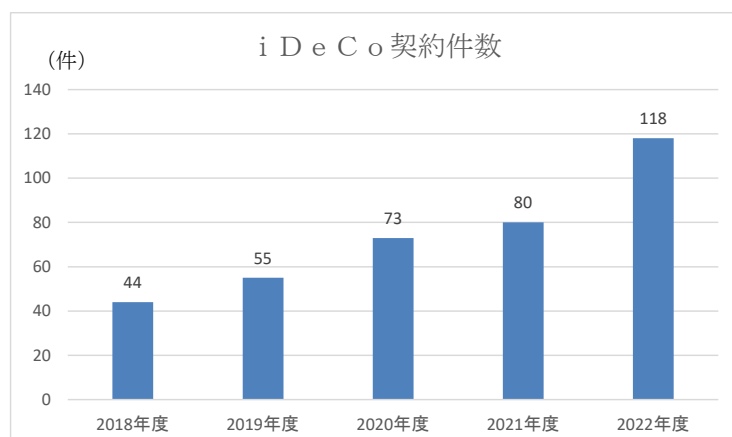
2022年4月～2023年3月の新規契約	
新規契約件数	96件
年度買付金額	940千円
2022年4月～2023年3月の買付状況	
買付件数	1,704件
年度総買付金額	19,461千円

生命保険の取扱状況（2023年3月末時点）

商品カテゴリー	契約件数
定額個人年金保険	801
一時払い型	268
積立型	533
変額個人年金	1
一時払い型	0
積立型	1
終身保険	438
一時払い型	293
積立型（定額）	42
積立型（変額）	103
学資保険	65

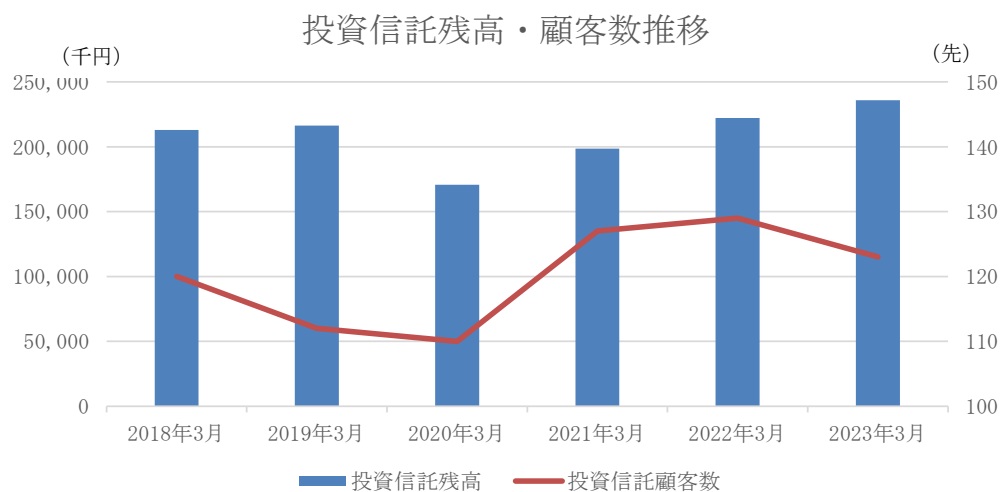
○個人型確定拠出年金（i D e C o）契約件数推移

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
契約件数	44	55	73	80	118



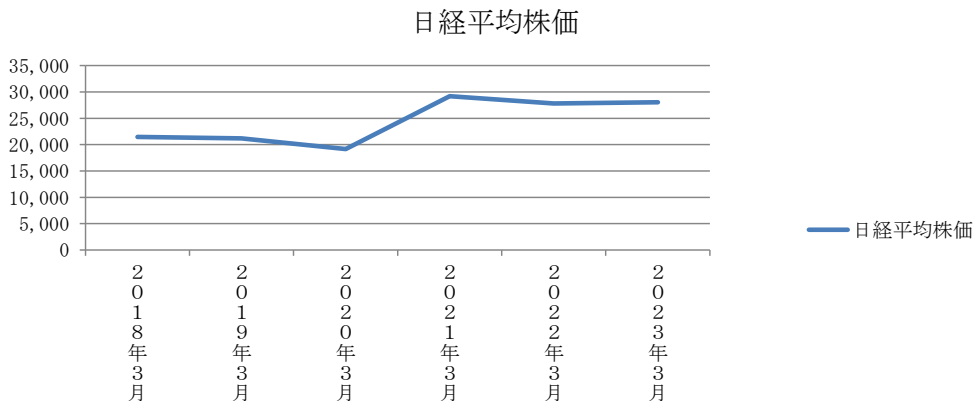
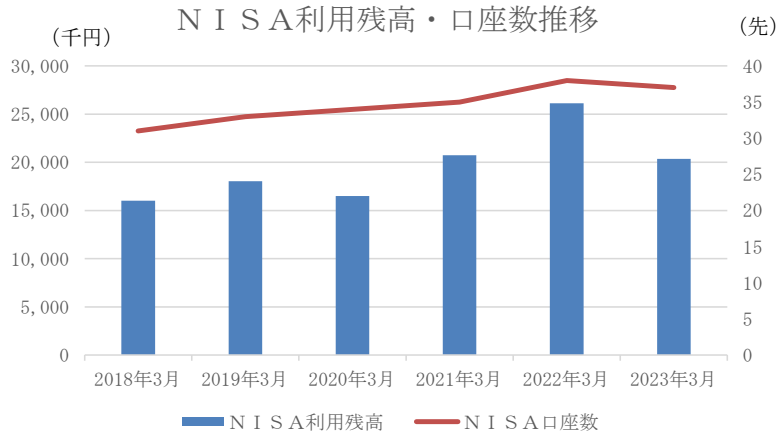
金額単位：千円、顧客数単位：先

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
投資信託残高	212,862	216,399	170,659	198,601	222,058	235,804
投資信託顧客数	120	112	110	127	129	123



残高単位：千円、口座数単位：先

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
N I S A利用残高	16,016	18,041	16,500	20,727	26,124	20,367
N I S A口座数	31	33	34	35	38	37
つみたてN I S A利用残高	-	1,142	2,270	6,592	14,666	30,218
つみたてN I S A口座数	-	8	8	29	64	125



- お客さまのさまざまなニーズにお応えするため、2018年1月15日よりつみたてN I S A 6 商品を導入しております。
- 現在の投資信託・保険商品のラインアップ、投資信託・保険商品・個人型確定拠出年金（i D e C o）の取扱状況は上記の通りです。

2. お客さまへの情報提供およびコンサルティングの実施

- (1) 商品・サービスのご提案にあたっては、お客さまに最適な商品をよく理解していただいたうえで選びいただけるよう、手数料・商品の特徴・リスク等についてお客さまの理解度に応じてわかりやすくお伝えするよう努

- めます。
- (2) お客様の資産形成・運用目的、資産等の状況、運用経験、資産形成・運用に関する知識や考えをお伺いし、お客様の最善の利益を追求するために、ライフプランおよびライフサイクルに応じた商品やサービスをご提案するよう努めます。
- (3) ご契約いただいたお客様には、お預かり資産の状況等の適切な情報をお伝えするなど、アフターフォローの充実に努めます。

【実施状況】

2022年度アフターフォローの実施状況（2023年3月末時点）

実施予定数	342先
実施した先数	342先
実施率	100.0%

※投資信託保有先に対し年度中に2回アフターフォローを実施しております。

- ご提案にあたっては、資産形成・運用目的、資産等の状況、運用経験、資産形成・運用に関する知識や考えに沿ったご提案を行っております。
- お客様との信頼関係の強化のために Face to Face の営業を行います。

3. お客様本位の業務運営態勢の整備と人材育成

- (1) お客様本位の業務運営を実施するための業績評価体系の整備に取り組みます。
- (2) 職員の専門知識習得やスキルの向上を図るため、各種職員研修の実施、外部研修への職員派遣や各種資格の取得奨励に取り組みます。
- (3) 役職員全員がお客様本位の業務運営を理解し実践するよう、各種研修等により本方針の浸透を図ります。

【実施状況】

職員の専門資格取得状況（2023年3月末時点）

F P 技能士 1 級	1 名
F P 技能士 2 級	2 9 名
F P 技能士 3 級	9 8 名
証券アナリスト	1 名

※F P 技能士 1 級、2 級取得者は 3 級取得者の人数に含んでおりません。

- 誠実・公正な業務の遂行を図り、お客様の最善の利益に適う業績評価体系を整備します。
- お客様へ提供する商品・サービスの内容に対する理解を深め、常にお客様本位で考え、行動できる人材育成を継続してまいります。

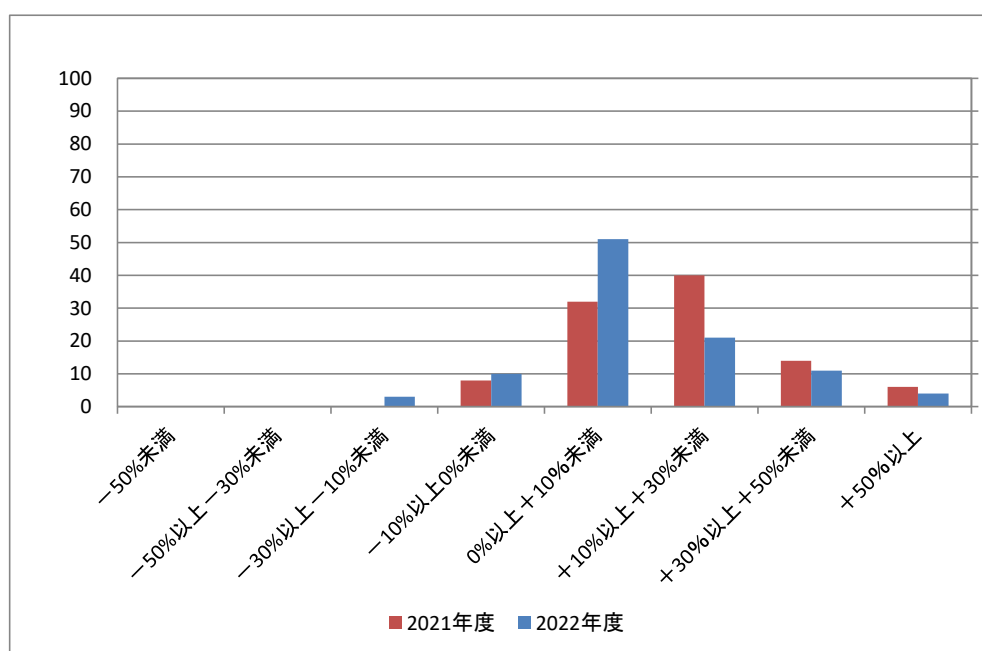
投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI について

2018年6月29日に金融庁が制定した「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI について」に基づき、2023年3月末時点の「1. 投資信託の運用損益別顧客比率」「2. 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン」を公表いたします。

なお、当金庫の投資信託取扱商品が20銘柄に満たないため、上記2. については、基準日時点での取扱商品数にて公表させていただきます。

1. 運用損益別顧客比率

当金庫で投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。運用損益率がプラス（0%以上）のお客さまは約87%でした。



《定義（運用損益別顧客比率）》

●基準日：2023年3月31日

●運用損益：基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売却金額－累計買付金額（販売手数料（税込）を含む）

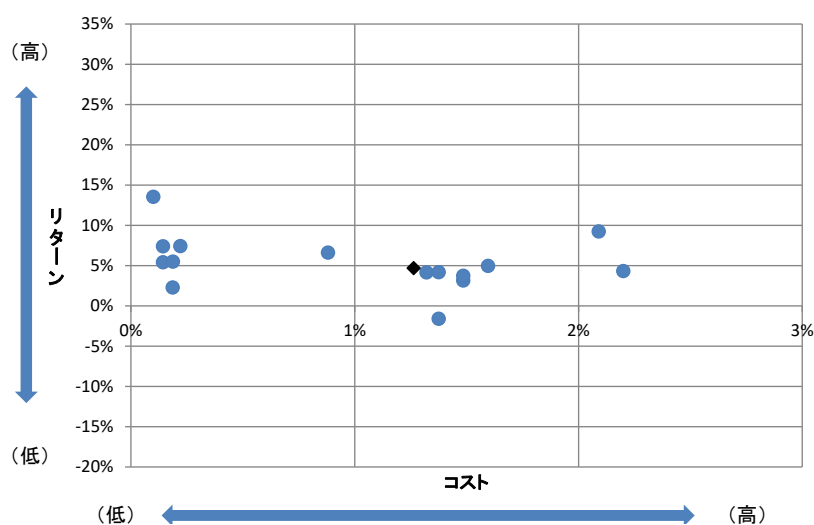
●運用損益率：運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

※原則として2003年6月以降の数値をもとに算出しています。

2. 投資信託預り残高15銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

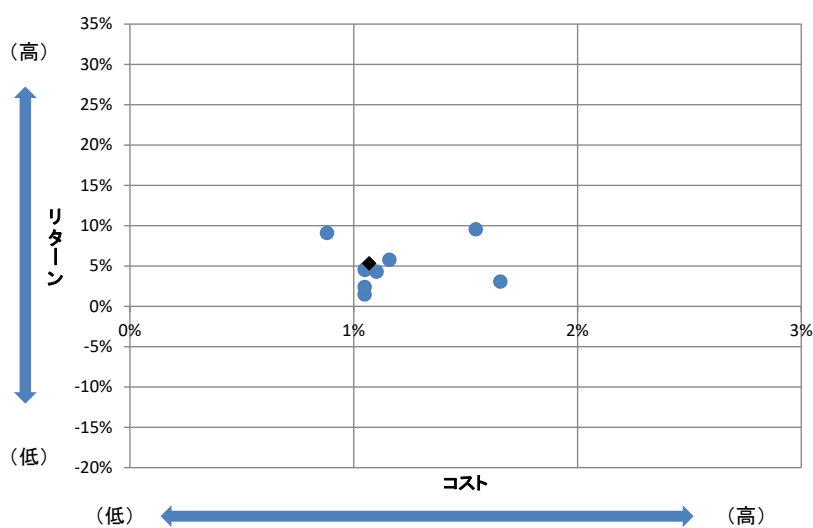
当金庫の投資信託の取扱銘柄について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。平均コスト1.26%、平均リスク13.71%、平均リターン4.68%となりました。

投資信託取扱15銘柄のコスト・リターン
2023年3月末時点



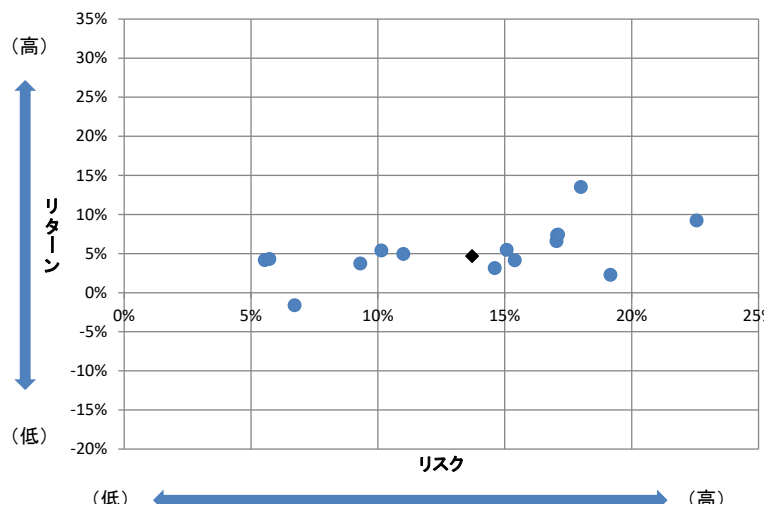
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.26%	4.68%

2022年3月末時点



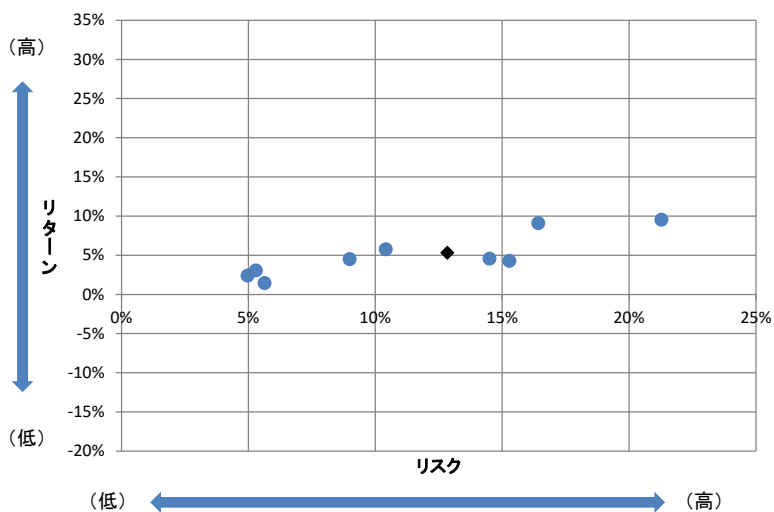
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.07%	5.32%

投資信託取扱15銘柄のリスク・リターン
2023年3月末時点



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.71%	4.68%

2022年3月末時点



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.84%	5.32%

《定義（コスト・リターン／リスク・リターン）》

●基準日：2023年3月末

●対象ファンド：当金庫取扱投資信託商品 15 銘柄

●コスト：（販売時手数料÷5）＋信託報酬（年率）

販売時手数料は当金庫において最低販売金額での料率

信託報酬（年率）は目論見書記載の実質的な信託報酬率の上限（その他の費用・手数料は含まず）

●リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

●リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

※上記は将来における当金庫の取扱の投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

《参考》当金庫取扱投資信託商品別の残高順位は次の通りです。

残高順位	ファンド名	運用会社
1位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
2位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
3位	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
4位	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
5位	しんきん海外ソブリン債セレクション(欧州ソブリン債ポートフォリオ)	しんきんアセットマネジメント投信
6位	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
7位	たわらノーロード先進国株式	アセットマネジメントOne
8位	しんきん好配当利回り株ファンド	しんきんアセットマネジメント投信
9位	たわらノーロード日経225	アセットマネジメントOne
10位	しんきん海外ソブリン債セレクション(米国ソブリン債ポートフォリオ)	しんきんアセットマネジメント投信
11位	たわらノーロードバランス(8資産均等型)	アセットマネジメントOne
12位	たわらノーロード新興国株式	アセットマネジメントOne
13位	たわらノーロード先進国株式<為替ヘッジあり>	アセットマネジメントOne
14位	ニッセイ/パトナム・インカムオープン	ニッセイアセットマネジメント
15位	たわらノーロードTOPIX	アセットマネジメントOne

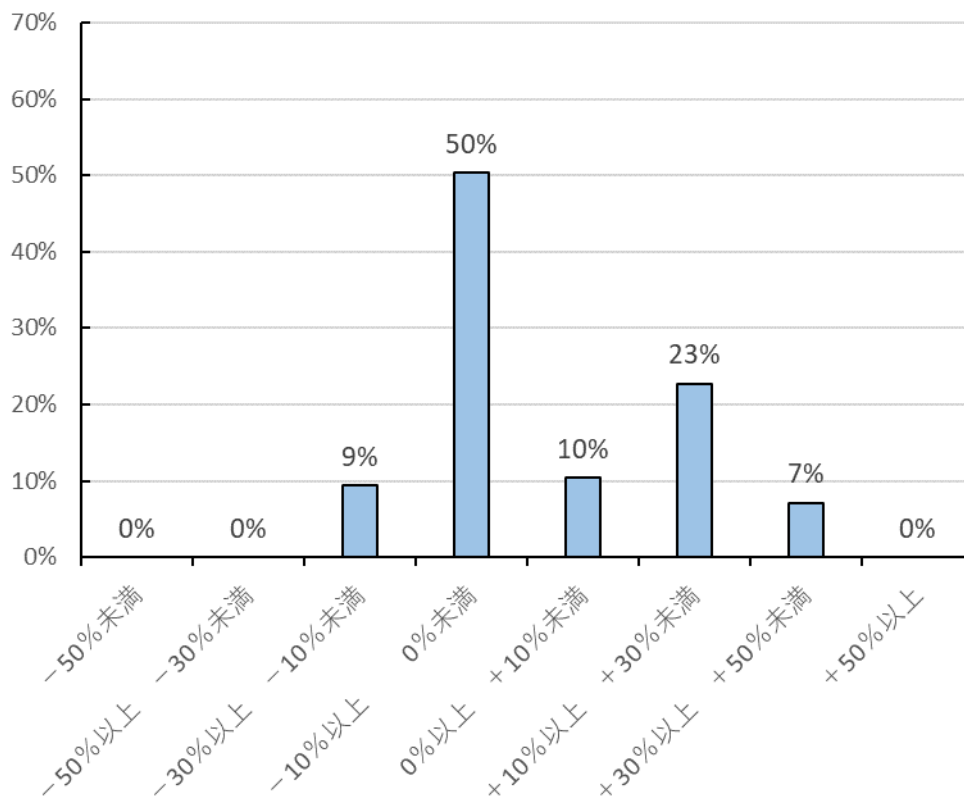
外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 KPI について

2022年1月に金融庁が制定した「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI について」に基づき、2023年3月末時点の「1. 外貨建保険の運用損益別顧客比率」、「2. 銘柄別コスト・リターン」を公表いたします。

なお、「2. 銘柄別コスト・リターン」につきましては、対象となる契約を60カ月以上経過している契約としており、当金庫において、基準日（2023年3月末）時点で該当の保有契約を公表いたします。

1. 運用損益別顧客比率

当金庫で外貨建保険を保有しているお客さまの運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。運用損益率がプラス（0%以上）のお客さまは約40%でした。



《定義（運用損益別顧客比率）》

- 基準日：2023年3月31日
- 対象契約：当庫が募集販売を行った外貨建保険契約の内、基準日時点で保有している契約
- 運用評価計算： $(\text{基準日時点の解約返戻金} + \text{既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$

※対象契約の内、基準日時点で解約済みの契約や年金支払いが開始している年金契約は除きます。

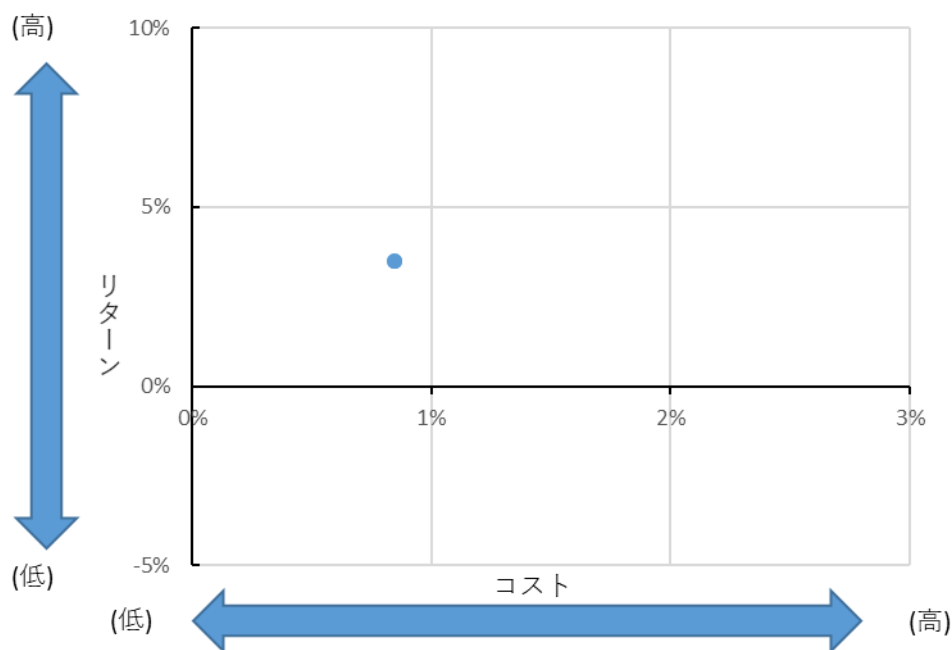
※解約返戻金は、時価評価を行うため、金利変動による時価調整（MVA）を反映します。

※解約返戻金額、既支払金額、一時払保険料は各時点の円貨とします。

※保険会社単位または保険商品単位で算出するのではなく、販売会社が募集したすべての保険商品を合算して算出します。なお、お客様が複数の契約に加入している場合でも名寄せは行いません。

2. 銘柄別コストリターン

当金庫の外貨建保険の取扱銘柄について、コストに対するリターンを表示しています。平均コスト0.84%、平均リターン3.50%となりました。



加重平均値	コスト	リターン
	0.84%	3.50%

《定義（コストリターン）》

- 基準日：2023年3月31日
- 対象契約：当庫が募集販売を行った外貨建保険契約の内、基準日時点で60カ月以上経過している契約
- 運用評価計算： $(\text{基準日時点の解約返戻金} + \text{既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$
- コスト：保険会社が支払う代理店手数料の内、新契約手数料率を基準日までの契約期間（月単位）で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出したものを各契約

のコスト率俊、これを各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均

- リターン：「(基準日時点の解約返戻金+既支払金額) ÷ (契約時点の一時払保険料) - 1」を年率に換算したものを各契約のリターン率とし、これを各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均

《参考》当金庫取扱外貨建保険商品別の残高順位は次の通りです。

No.	保険商品名	保険会社
1	たのしみグローバルⅡ（指数）	住友生命保険相互会社
2	ふるはーとJロードグローバル	住友生命保険相互会社
3	やさしさ、つなぐ2	三井住友プライマリー生命保険株式会社
4	ふるはーとJグローバルⅡ	住友生命保険相互会社
5	たのしみグローバル（指数）	住友生命保険相互会社
6	たのしみグローバル（定率）	住友生命保険相互会社
7	やさしさ、つなぐ	三井住友プライマリー生命保険株式会社
8	おおきな、まごころ2	三井住友プライマリー生命保険株式会社
9	しあわせ、ずっと3	三井住友プライマリー生命保険株式会社
10	おおきな、まごころ	三井住友プライマリー生命保険株式会社
11	たのしみグローバルⅡ（定率）	住友生命保険相互会社

以 上